

専門誌「学校の食事」2025 2月号より 特集「みんなどうしてる？給食費編 part 2」

給食費について あれこれ思うこと

全国の栄養教諭等の有志の皆さん

- 米価格の高騰で大打撃を受けています。週4回提供しているものですし、提供量を減らすわけにもいかず悩ましいです。4月から牛乳の値上がり、野菜の高騰などあるなかで、なんとかやりくりしてきたところですが、ここにきて米か——！！と撃沈しているところです。ちなみに勤務している市では高騰分の補正予算が出る見込みはなく、献立作成に一苦労しています。米の契約は3カ月に1回なので、今後どのくらいさらに上がるのか見通しが立たないのも不安要素です……。お米（新米）や野菜の高騰により、旬の果物の使用を控えています。

牛乳1本あたりの価格も毎年上がり、そこも懸念材料の一つです。「完全給食をうたっているのに、牛乳を…」という声も聞こえてくるので、安易にジョア等の乳飲料（牛乳よりも安価なもの）に頼るのも…と考えてしまいます。

安価な食材を使いまわす感じのため、季節感、バラエティに富んだ給食の実現が難しくなりました。毎月、価格の安定している同じような食材を使わざるを得ません。

- 使いやすい価格のもの（野菜であればもやし等）に頼ってしまい、献立内容がパターン化してしまっているように感じます。
- 金額を抑えるため、冷凍野菜、外国産食材をとりいれています。
- 行事食のデザートはできるだけ減らしており、11月はカップデザートは使いませんでした。（果物3回、ヨーグルト和え1回）主食と牛乳代が上がると、おかずにかける費用が少なくなる。（学校の食事2月号より一部抜粋）